



Japan Healthcare Promotion Association ニュースレター

目次

- 1 医薬品配布事業が始まりました！
- 2 薬剤師からできることを地道に・・・
- 2 寄付および入会のお願い

2012 年 10 月 / Oct 2012



医薬品配布事業が始まりました！ イラストの手作り説明書

さて、今日は新しく始まった医薬品配布事業のご紹介です。

昨年、宮城県薬剤師会のご厚意で、余剰となっていた東日本大震災支援医薬品を「カンボジアの人たちにぜひ使ってほしい」と譲りうけ、多くの方々の支援をいただき、無事に 40ft コンテナ 2.5 本分もの莫大な医薬品を輸送することができました。

輸送先はカンボジア薬剤師会とシアヌーク病院でした。しかし、昨年 12 月に倉庫に納品した医薬品をすべて使い切ることができず、期限が過ぎてしまった品目が出てきました。そこで、シアヌーク病院に一度は渡した医薬品を全て引き取り、NGO で配布することとなりました。

カンボジア事務所の Lee 君のネットワークで直接、地区の代表者とコンタクトをとり希望を尋ねたところ、依頼が殺到！日時を決め、希望する地区の人数に応じて、薬の品目を決め、車を手配し薬配布の旅に何回も出ることになったのです。

これまで配布をした地域と住民の数は以下の通りです。総費用 3530\$=282400 円！

日付	地区	人数	品目	費用
6/16	Sihanouk ville 州	100	アイボン目薬・サラテクト	180\$
6/30	Bantaprom 地区	250	アイボン目薬・サラテクト・わかもとNK 胃腸薬	180\$
7/27- 29	Preak veheal 州 Chon san 地区	300	ワードケアハンドジェル・ラクトーン・ペロ ット下痢止・ポポンB・サラテクト・ハイウ ルソ・ストナリニシロップ	720\$
7/31 -8/1	Svay reang 州 Bavet 地区	病院 200 300	クレベリンスプレー・サラテクト・ホエスミン ラビング サラテクト・ホエスミンラビング・ポポン B・ペロット・ストナリニ・わかもとNK胃 腸薬	450\$
8/12	Kompon Cham 州 Stung trong 地区	300	サラテクト・ホエスミンラビング・ペロット 下痢止・ポポンB・ストナリニシロップ	360\$
8/18	Kandall 州 Sa an 地区	300	サラテクト・バイシン目薬・わかもとNK 胃腸薬・ペロット下痢止め・ホエスミンラ ビング・ザジテン点眼	440\$
8/19	Prey Veng 州 Ma sang 地区	300	サラテクト・ホエスミンラビング・正露丸・ ストナリニシロップ・ポポンB・ペロット下 痢止・サンテパツソ	340\$
9/3	Kompon cham 州 Orenur 地区	600	サラテクト・ホエスミンラビング・わかもと NK胃腸薬・ストナリニシロップ・	360\$
9/19	Kompon tom 州 Ba rai 地区	1000	サラテクト・ホエスミンラビング・ストナリ ニ・セイロガン糖衣・ベンザブロック・サ ンテコンタクト	160\$
9/29	Takeo 州 tram kak 地区	300	サラテクト・ホエスミンラビング・セイロガ ン糖衣・コルゲン鼻炎 Cap・アイボン目 薬	340\$

配布地域はどれも貧しくて、ちょっとした風邪薬すら手に入らない地区ばかり。
虫よけ・子供の風邪薬・点眼類・下痢止めはとても喜ばれました。

今後の予定

予定日	予定地区	予定人数	必要な予算(96800 円)
10 月中旬	Kandal 州 Oudong 地区	100 名	150\$
11 月中旬	Stung treng 州	500 名	700\$
12 月中旬	Takeo 州	300 名	360\$

現時点で集まっている寄付は 15 万円で既に予算を 13 万円オーバー!! 合計で約 24 万円が必要です。薬の期限もありますし、薬を必要としている人たちがたくさんいて、断ることもできません。カンボジアの人たちが日本の薬を使えるように皆様のご支援、ご協力、よろしく願いいたします。



お薬の説明しますよ～。

みなさん、熱心に私達の説明を聞いてくださるので、こちら力が入ります！



既に予算オーバー。

でも、この活動は

「断れない」んです。



汗だくで薬の配布です。はい。はい。順番に並んでくださ～い。

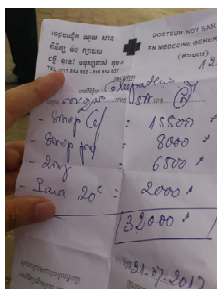


現地TVの取材もうけました。カンボジアTVへの出演回数は既に3回(*^^)v



ベトナム国境付近の街でサトウキビジュース売りの親子が「6歳の娘の下痢が治らない」と相談してきました。その時服用していた薬

カンボジアの医師は「診断」ではなく、「マニュアル判断」で処方薬を決めている。



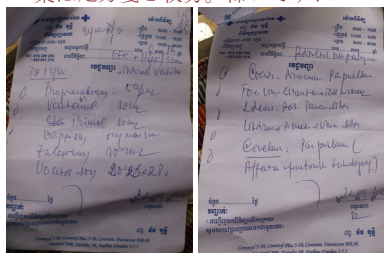
薬は全て4種類。2日分で8ドル。セフェム系抗生物質、抗ヒスタミン、アセトアミノフェン、もうひとつは不明



とにかく、手持ちだった奈良の配置薬をお渡し。タンナルピンが主原料です。翌日「治った！」とお礼の電話♪嬉しかったですね。



配布先で訊ねられました。「病院で胃が重いと言って検査を受けたら、胃が赤いといわれた。」とのこと。超音波検査だけで診断して、薬は処方箋2枚分。怖いですね～



「薬剤師だからこそできること」を地道に・・・

「医薬品を住民に配る」…この活動に対して、「じゃあ健康被害が出たら誰が責任を取るの？」と聞く人がいます。確かにそれは日本人の感覚ならそうでしょう。でも、「健康被害が怖いから配らない」と「できる限りリスクを回避するための努力をして、配る」のとどちらがいいのでしょうか。NGOの役員の間で相談しましたが、私達の結論は「配った方がいい」です。

なぜなら、それだけカンボジアの人たち、特にプノンペンから離れた貧しい地区に住んでいる人々は薬局や医療機関へのアクセスがとても悪いのです。

カンボジアの医療機関も地方に行けばいくほど質が悪い傾向があるようで、行く先々で「病院で薬をもらっても治らない」「胃が赤いっていわれたけどよくわからない」などの相談をよく受けます。

そんなときに遭遇する処方薬には一定のパターンがあって、女性の腹痛なら「アモキシシリン・アセトアミノフェン・アルミゲル剤・メロニダゾール」と決まっていますし、咳の患者には「アモキシシリン・サルブタモール」、胃が痛いという患者には「アモキシシリン・オメプラゾール」などなど。カルテはつけずにその場その場での患者の主訴と、簡単な血液検査で決めているようです。

血液検査は主に白血球を見ているようで、「白血球が高い＝感染」→抗生物質を渡すのが基本のようで、他の胃や咳なども検査をして薬を決めている様です。

感染症についても抗菌スペクトルを考えて処方を決めたり、触診や聴診で患者の状態を把握して薬を処方しているケースには出くわしたことはありません。

それがカンボジアの医療の現実で、このような現実に出くわすたびに、薬剤師として薬を適切に使用できない、「売上」目的で薬を売る薬局やクリニックに対して、やり場の無い腹立たしさがこみ上げてきます。

薬剤師だからできること。それは、プライマリケアレベルの OTC 薬を配り、正しく使えるように説明し、健康の話もして、ほんの風邪、熱、咳、下痢でも自分たちで対処できるように教育することだと思います。

医師や薬剤師の意識を変える努力も今後必要です。でも、既に患者は薬による健康被害に出くわし、効かない薬に1日分の収入すべてを使わされているのです。

私達薬剤師がカンボジアの人たちのために「今出来ること」は、「医薬品のうち、リスクが低く、イラストや口頭の説明をすることでも十分安全に使える薬を選び、適正使用ができるように教育をする」ことだと信じています。



カンボジアの人々の為、皆様のご支援をお待ちしています！

入会及び会費(寄付)のお願い

私達の NGO には収益を得る事業がありません。この活動は現在全て、活動参加者のボランティアによって実施されています。しかし、渡航費、医薬品の購入代を参加者による自費だけでは継続的に活動を行って行くことは非常に困難です。

この活動にご賛同いただける方は是非、ご入会をお願いいたします。

個人会員@年会費;1万円/年

法人会員@年会費;10万円/年

また、通常の寄付金は 10万円までお願いいたします。

＜興味のある学生のボランティア参加も次々受付けます！気軽に問い合わせ下さい＞
OTC 医薬品現物での寄付も受け付けています。

配布可能な OTC 医薬品については、下記の通りです。

* 第2類～3類のもので対象疾患が General なもの。(例:総合感冒剤・健胃薬・抗菌以外の点眼剤・ビタミン剤・整腸剤・小児の適応のある下痢止め・消毒薬・傷薬・解熱鎮痛剤・シブシブ類)

* 期限は6カ月以内のものであればカンボジア国内に寄付医薬品として輸送可能です。詳しくはメールにてお問い合わせください。

振り込み先

ゆうちょ銀行【店番】458【普通口座】1933645

【名義】特定非営利活動法人

Japan Healthcare Promotion Association

トク! ジャパンヘルスケアプロモーションアソシエーション

郵便局振替口座 00930-5-282252 (青い振替用紙)

特定非営利活動法人 JHPA

NGO JHPA ニュースレター Vol.2 No.2/ October 2012

1026-11 Misasagi-cho Nara, 631-0803, Japan : 0742-95-7020

N-c03 Cheerfulness St. Sangkat TekThla, Khan Sen Sok, Phnom Penh

Official Blog: <http://blog.japan-hpa.org/> : nanaumi@japan-hpa.org

Official facebook : NGO Japan Healthcare Promotion Association